



けやきっ子

東根市立東根小学校
学校だより

No. 12

平成27年2月25日発行

しめくくりと始まりと

中庭に積もった雪の下に、草の緑を見つけました。まだまだ寒い日が続きますが、行きつ戻りつしながらも春がそこまやって来ている気配を感じます。

さて、平成26年度も残り少なくなってきました。3学期は1年間のまとめの時期であるとともに、次の学年や進学への準備期間であるとも言われます。これまで学校の機関車として東根小学校をリードしてきた6年生に代わり、5年生への引き継ぎが学校生活の様々な場面で始まっています。

縦割り班の活動では、5年生が新たに班長となり、清掃活動に取り組んでいます。

「ここはごみが飛ばないように、こっちから掃くといいよ。」

「早く終わったら、ごみを拾ってね。」

など、やさしく声がけしながら下級生のお手本になって働く子どもたち。自分たちがリードしていくのだという自覚や、意気込みを感じます。

26日は、これまでお世話になった6年生への感謝を込めて「6年生を送る会」を行います。5年生が中心になって企画し、全校生が心を入れて出し物を行ったり、プレゼントを贈ったりする予定です。5年生にとっては、全校生をリードする初めての機会となりますが、きっと思い出に残る心温まる会になることと期待しています。

引き継ぎと言えば、2年生から1年生への引き継ぎもありました。2年生がこれまでずっと世話をし、かわいがってきたウサギのバニラとマロン。おかげで2匹ともとても元気に、すくすくと育っています。この世話を、今度は1年生が行います。2年生が1年生の教室に出向き、

「エサはお家から野菜を持ってきてください。」

「驚かさないように、やさしくさわってください。」

「鍵の番号は、〇〇です。逃げないように、戸をちゃんと閉めてください。」



など、世話の仕方や注意することなどを丁寧に教えました。そして、1年生が慣れるまでの間は一緒にウサギの世話をしています。1年生にとっては、とても頼もしいお兄さん、お姉さんに思えたことでしょう。

創立140周年の節目の年が、間もなく終わろうとしています。今年度をしめくくるとともに、新しい1年に向けての準備が進んでいます。上級生からのバトンを受け取り、141年目に向けて伝統を受け継いでいく子どもたちです。

